高雄／嵯峨野 曼荼羅を涉く。

空海の敷(しき)曼荼羅(マンダラ)を渉(ある)く

【曼荼羅(マンダラ)】とは古代インドに起源。ヒンドゥー教と仏教の中で発展。瞑想、教義を視覚的に表現するため誕生するも、やがて仏教儀式や修行に《曼荼羅カーペット》が。
またカラフルな色砂で精緻に描かれる《砂マンダラ》も…。僧侶たちが永い時間をかけやっと完成させたかとおもうと、アッという間に搔き消されます。
そのはかなさは〝無常〟を示しています。この世の物質的な〝執着の放棄〟を象徴しているのです。

空海が、高雄から嵯峨野エリアに敷いた《曼荼羅カーペット》を歩こう!!
愛宕山、嵐山、小倉山そしてその名もマンダラ山。
眼下の保津峡、清滝川のせゝらぎが響(どよ)む山水曼荼羅を渉ります…
千二百年前、唐から帰った空海は、峨々(がが)たる山々と幽邃(ゆうすい)なる渓谷を
流れるせゝらぎの景に【敷曼荼羅】をかぶせ、結界を敷いた。

KUUKAI

二〇二四年
十一月二日(土)
◉阿字観(あじかん) 密教瞑想(メディテーション)
「ア」の音は宇宙のはじまりの聖音で、
その「〝ア〟の字」梵字を通す観想法。
「阿字」は、大宇宙の根源、本質を示し、
ゆえに〝わたし自身が宇宙〟であることを実感する…
誰しもが静謐な観音院本堂に坐して、
体験できるメディテーション。
武内孝善先生直々の優しい指導による…

十一月三日(日)
◉空海道(くうかいどう)を渉く 【神護寺〜大覚寺】
清滝川のせゝらぎ…
空海の住寺した「神護寺」から嵯峨天皇の「大覚寺」。
はるか唐から帰り、京で密教を深めたその地。
空海さんの歩いた、渉ったせゝらぎの道。
空海さんの足跡を辿り渉りませんか。
せゝらぎに融けこみ山谷の響みのなかに。
武内孝善先生を水先案内人に〝山水涉覧〟

観音樂 kan non raku ❼

［空海博士］武内孝善(たけうち・こうぜん)
一九四九年、愛媛県大洲市生まれ。「空海学会」初代会長。高野山大学名誉教授。空海研究所所長。博士(密教学)。
専門は、日本密教史、空海伝・初期真言宗教団成立史。第三十二回日本印度学仏教学会賞ほか多数受賞。
著書に『弘法大師空海の研究』、『空海伝の研究　後半生の軌跡と思想』(吉川弘文館)ほか多数、
近著に空海の「般若心経秘鍵」研究を綴る著書『天皇と般若心経』(春秋社)がある。

〝カン・ノン・ラク〟は、〝神樂：カグラ〟〝能樂：ノウ〟〝催馬樂：サイバラ〟という名称に似ていますが、じつは芸能にかぎらない幅ひろい「体験表現」全体を意味しています。
嵯峨・観音院が、密教、伝統芸能からコンテンポラリーまでのジャンルを超えた世界観で捉えなおす〝課外活動〟のようなものです。
春秋の二回を中心に、本堂、千体観音堂、別院のぎゃらりゐ、そして嵯峨野の屋外にて活動します。芸術・文芸・芸能(音楽・舞踊など)とともに響きます。

本行事『空海の敷曼荼羅を涉く』は、観音樂❼として企画されました。
運営を牽引するのは観音院副住職・白石祐佳尼。
企画進行役を武田好史(文化史、ラジオ・パーソナリティ)が、デザインを谷浩志が担当しました。

嵯峨野
観音院
慈悲、慈愛の尼寺

◉阿字観 密教瞑想（メディテーション）

十一月二日(土) 十三時～十六時(十二時半入場)

宇宙の聖音…はじめの音〈a(阿)〉と、終わりの音〈hūṃ(吽)〉。
密教の観想法『阿字観』と、空海が書いた『吽字義(うんじぎ)』…
印度から中国に〈hūṃ〉が伝わったとき、同音の漢字がなく中国で創作されたその字が、〈吽〉。
〈吽〉は、〈mm…〉と牛が口を閉じて鳴くその音…
ふたつ合わせて〈阿吽(あ・うん)〉なり

会場：
嵯峨野・観音院本堂
(椅子席あり)

●十三時～
十四時三〇分
武内孝善師による
解説・指導
『阿字観』
[休憩]三〇分

●十五時～十六時
『ご宝号念誦
―その心と歴史―』
*「宝号」南無大師遍照金剛。
講演：武内孝善師

●十六時～十六時十五分
『御法話』
観音院住職 白石慈恵尼
(終了後、千体観音堂に輝ける
瑠璃観音体験や、正十一面体スピーカー奏でる
聲明をしばしお聴きいただけます)

主催／観音樂座
参加費／二〇〇〇円
詳細は参加決定後お伝えします。

「阿字観」本尊仏　梵字

◉空海道を渉く

十一月三日(日) 一〇時～十六時

神護寺～大覚寺歴史散策

大唐・長安の都から嵐の波濤を奇跡的に渉り、
わが国初の密教経典を無事、積載して帰国した空海…
新都「平安京」造営まなしのころ。都の西北、現・神護寺だ。
時の若き天皇、嵯峨天皇が大沢の池のほとりに別荘を築いたのが
嵯峨院(大覚寺)。神護寺と大覚寺。そのあいだを結ぶように
清滝川の清冽なせゝらぎがいまも寸分かわらず流れている。
みなぎる空海の脚足では一時間足らずの距離か。
せゝらぎを魚のように渉り歩いた弘法大師・空海の姿が眼にうかぶ…

[一部] 神護寺参拝
●一〇時、神護寺山門前集合
大師堂など特別拝観を空海博士、武内孝善先生の解説による
●十二時～十二時四〇分 昼食(弁当) 神護寺内茶屋席

[二部] 神護寺から大覚寺まで
●十三時、神護寺山門スタート
清滝川沿い「空海道」を渉覧し嵯峨天皇の待つ大覚寺へ
●十六時、大覚寺到着 解散
(希望者は大覚寺自由参拝)
[参拝時間] 最終受付十六時三十分、閉門十七時

主催／観音樂座
参加費／三五〇〇円
【拝観(特別含む)料＋茶屋＋弁当、茶ほか】
詳細は参加決定後お伝えします。
お申し込み先着順、定員次第〆切

高雄 神護寺

清滝川

嵯峨野 大覚寺

観音院近隣地図

嵯峨野・観音院住職
白石慈恵尼の本

観音さまのメッセージ
慈言集

いろは出版
定価 1500円＋税

角川春樹事務所
定価 1400円＋税

角川春樹事務所
定価 1900円＋税

真言宗御室派観音院
編集 NHK出版プロジェクト21
定価 1850円(税込)

※「X」(旧ツイッター)にて、
『今日の慈言』を毎朝発信中!!
どなたさまも自由にご覧いただけます。

真言宗御室派
京都嵯峨野・観音院
郵便 616-8426
京都市右京区嵯峨二尊院門前往生院町5-2
電話 075-861-8550 FAX 075-862-1415
mail: info@kannon-in-kyoto.org
http://www.kannon-in-kyoto.org

JR嵯峨野線(山陰本線) 嵯峨嵐山駅下車 徒歩20分
市バス／京都バス 大覚寺行き 嵯峨釈迦堂前下車 徒歩10分
JR京都駅より 約30から40分

【イヴェントご参加】
お申し込みは
QRコード、または
電話、FAX、
メールから